

# あけまして おめでとう



上三川町議会議員  
田村 稔

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、平成31年の新春を健やかに迎えのことに、心より喜び申し上げます。併せて、日頃より議会活動に対し深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、大阪北部地震、西日本7月豪雨、台風21号及び北海道胆振東部地震など、自然災害が相次ぎ各地に甚大な被害をもたらしました。被害に遭われました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

本町は、災害の少ないと言われております。しかし、昨今の異常気象等が多発している状況を見ますと、決して安全とはいえません。昨年、町では、防災マップを更新し全戸に配布しま

した。これには、災害時に役立つ多くの情報が記載されておりますので、有効に活用していただければと思います。想定外の災害に備えておけば、小さな災害への対応は十分できます。「想定外とは、想定できることを想定しなかったものの言い訳ではない。」といわれないう、心がけたいと思います。

さて、安倍首相は、「わが国が直面する最大の課題は、少子高齢化です。この課題に真正面から立ち向かい、子供から現役世代、お年寄りまで全ての世代が安心できる社会保障制度へ今後3年をかけて改革を進めていきます。」と多くの式典などで挨拶されました。

本町においても、「ベビーギフト事業」「赤ちゃん誕生祝金事業」「医療費助成事業」などの子育て支援、「介護予防・日常生活支援サービス事業」などの高齢者支援、「空き家対策」などの移住・定住者への支援など、様々な施策を行い、この問題に取り組んでおります。さらに、「新産業団地の開発」による産業・雇用環境整備、「健康マイレージ事業」による健康増進などの施策を行い、本町の課題に対して取り組んでいるところで

また、昨年度町では「かみのかわブランド」の制定により、町の魅力ある特性を活かした生産物が認定されました。町には隠れたブランドが、まだまだあると思いますので、それらを発掘しホームページやイベント等で情報発信することにより、町の知名度を向上させ、地域経済の活性化に期待するところで

今後、議会としましては、地域の代表者であるということ認識し、責任をもって各種施策の効果、進捗状況などをチェックして参りたいと思います。また、町へ提言を行うなどして、町民の皆様の声を行政に反映させることに努めて参りたいと考えます。

町民の皆様一人ひとりが充実した生活を送ることができる活力あるまちづくりに、ご協力・ご助言をいただきながら議員一同全力を尽くす所存でございます。

結びに、皆様にとりまして、本年が大いなる飛躍の年となりますことを心よりお祈り申し上げまして、新年の挨拶とさせていただきます。

# ございます 年頭にあたり



上三川町長  
星野 光利

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことに心からお慶び申し上げます。

昨年は、多くの皆様のお力添えで、実り多い一年となりましたことを改めて感謝申し上げます。

本年も、町民の皆様が安心・安全に、そして活き活きと暮らせるよう、様々な取り組みを進めてまいります。

昨年を振り返りますと、2月には北陸地区で歴史的な寒波による大雪、6月から8月には日本中で災害級の猛暑、7月の西日本豪雨や9月の北海道地震など、一年の間に記録的な自然災害が複数発生し、日本列島に多くの被害をもたらしました。被災された地域の皆様には心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

本町では、あまり被害はありませんでしたが、いつこのような自然災害が本町を襲うかわかりません。突然に発生する自然災害を防ぐことは出来ませんが、日ごろから災害に対する対策や心構えを身につけることで被害を最小限に抑えることができます。河川工事や耐震工事などのハード整備と同時に、自主防災組織を中心とした地域での防災意識の向上などのソフト整備についても、これまで以上に取り組んでまいります。東日本大震災からもうすぐ8年が過ぎようとしています。災害は、忘れた『頃』にやってくるのではなく、忘れた『所』にやってきます。いざという時の備えをもう一度見直してみよう。

明るい話題としましては、2月に韓国平昌で冬季オリンピックが開催され、フィギュア男子、スピードスケート女子など、日本選手団の活躍に多に盛り上がりました。また、6月のサッカーワールドカップでは日本代表が決勝トーナメントに出場するなど、スポーツ界を中心に明るい話題がありました。栃木県でも2022年に日本最大のスポーツの祭典である国民体育大会が開催され、本町ではフェンシング競技が開催されます。それに向け、今年から体育センターの耐震改修工事や周辺の道路や駐車場の整備に着手してまいります。町民の皆様がとちぎ国体を楽めるよう準備してまいります。

さて、町の行政運営では、人口減少や少子高齢化という日本全体の課題の中で、本町でも地方創生の取り組みとして、新たな雇用の場の確保に向けた「新たな産業団地(かみのかわインター南産業団地)の整備」や、昨年立ち上げた「かみのかわブランド」を活かした「直売所の整備」を進めてまいります。

結びに、町民の皆様にとりまして、本年がさらなる飛躍の年となりますよう心から祈念申し上げますとともに、今後とも、町政へのより一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。